2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)	科　目　区　分	専門分野	授業の方法	演習
科　目　名	医療安全管理学Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎4階実習室
担 当 教 員	藤原　真喜子、山本　由紀	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

医療の高度化・複雑化に伴い、多種の医療スタッフが連携し、それぞれの専門性を最大限に発揮する「チーム医療」を推進するために診療放射線技師の業務範囲を拡大する必要性が生じ、平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行された。本科目では、拡大された放射線技師業務について演習も含めて学習する。

《成績評価の方法と基準》

レポート課題(70%)
出席点(20%)
平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:特に使用しない
参考図書については、授業内でその都度、紹介する

《授業外における学習方法》

授業内容を復習し理解すること

《履修に当たっての留意点》

授業内容を復習し、理解したうえで次の授業に臨むこと

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	X線検査用造影剤を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	種類・投与方法		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	X線検査用造影剤を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	特性・副作用		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	X線検査用造影剤を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	腎機能・禁忌・予備テスト		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査用造影剤・超音波検査用造影剤を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	種類・投与方法		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査用造影剤・超音波検査用造影剤を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	特性・副作用・禁忌		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師の業務範囲を理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	法律・倫理		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	静脈路の穿刺針の抜針・肛門カテーテルの挿入・患者移乗について理解する	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	検査・感染・接遇・安全管理		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査における静脈路の穿刺針の抜針	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺針の抜針・止血演習		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査における静脈路の穿刺針の抜針	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の穿刺針の抜針・止血演習		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)の修得	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)演習		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)の修得	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査における肛門カテーテルの挿入	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	肛門カテーテル挿入演習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査における肛門カテーテルの挿入	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	肛門カテーテル挿入演習		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者移乗	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	患者の移乗演習		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	手指衛生	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	手指衛生演習		